



第8話

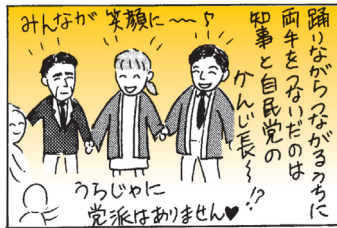
夏休みの宿題で、
防災マップを作ってみると…

長女の夏休みの自由研究で、地域のハザードマップを一緒に作りました。自宅周辺の地図を書き、そこに南海トラフ地震の震度や洪水想定などを色づけして被せて見えるようにしました。娘と地域の災害リスクを確認できて良かったのですが、なかでも広範囲で2～5m浸水する想定には驚きました。しかし、「48時間に257mmの雨が降った場合」という想定条件を調べてみると、今年と20年前にもこれ以上の雨が降っていたことになりますが、これほどの浸水はありませんでした。どうもピンとこないと思って、県の河川課に確認すると、これは大雨が降って堤防スレスレになった上に、堤



身近な地図を描いてみると、自宅近くの災害リスクがよくわかります。自由研究にもオススメです！

防が破れた場合の浸水想定だということがわかり、こういう点についてもわかりやすい説明ができればいいですね、と意見を交わしました。



おおつかあい・プロフィール
1974年1月10日生まれ。旭操小学校、操南中学校、岡山朝日高校、岡山大学教育学部卒業。99年より福島県で農業研修。4年間の大工修業の後、自宅を建て、大工として働く。2011年3月福島原発事故により一家で岡山に避難。5月「子ども未来・愛ネットワーク」を立ち上げ、避難移住者のサポートや福島の子どもの達の保養受け入れなどを行う。北区建部町に夫、3人の子どもと暮らす。

大塚愛 いっぱ通信

岡山県議会議員
大塚愛 県政レポート[第8号]
発行：2018年10月(2018年9月議会報告)
最新情報を発信しています
Facebook:
・みどり岡山
www.facebook.com/greenokayama
・大塚愛
www.facebook.com/ohtsuka.ai.3
みどり岡山ホームページ:
http://midori-okayama.org

〔事務所〕
〒700-0971
岡山市北区野田5-8-11
Tel:086-244-7721
Fax:086-244-7724
e-mail:info@midori-okayama.org
http://midori-okayama.org/
〔自宅〕
〒709-3122
岡山市北区建部町吉田321
携帯:070-5056-3808
e-mail:ai@midori-okayama.org



みなさま、こんにちは。
今年は豪雨災害をはじめ、度重なる台風や地震など、本当に災害の多い夏でした。被害にあわれた皆様には、心よりお見舞いを申し上げます。

7月以降、各地で開催された豪雨災害のふりかえり会に参加させていただきました。ここでは、どのように避難したか、避難所はどうだったかなど、町内会長さんや地域の方たちが様々な意見を出し合っておられましたが、そのような場を



地域の防災力を高めるため、様々な意見が交わされました@足守公民館

お お つ か あ い
大塚愛

県政レポート(2018年10月発行)[第8号]



いっぱ通信

P.02-03 これまでの2年間&9月議会をふりかえって

P.01 豪雨災害をふりかえり、これから出来ることは？

P.02-03 おもな活動記録から「公民館フォーラム・ひだまりカフェ訪問」

P.04 愛ちゃんがゆく！—県議体験記—／日々のうごき(2018年7月～10月)

日々のうごき

2018年7月～10月

- 7.9 災害支援ネットワーク会議
- 7.10 片付けボランティア@真備町
- 7.11 いっぱプラス収録
- 7.12 避難所訪問@真備町、土壁マニュアル作成
- 7.13 常任委員会(総務)
- 7.15 ふるさと発表会&豪雨災害振り返り@宇甘西地区
- 7.17 岡山聾学校視察
- 7.19 多言語情報を求める会の要望書提出



- 7.21 農園復旧ボランティア@国が原、御津産廃阻止同盟総会、あるもんで食事会@建部町西原
- 7.23 防災カフェ@吉備公民館、みどり岡山会議
- 7.24 常任委員会(総務)
- 7.26 被災者聞き取り訪問@総社市下原
- 7.28 NPO「LIFE」設立祝賀会
- 7.31-8.1 心のケアボランティア@総社市と倉敷市の避難所
- 8.4 「福島の今を伝える」@SILVER TONE



- 8.10 常任委員会(総務)、県政広報テレビ収録@高野尻
- 8.11 建部町納涼花火大会
- 8.14 新庄原盆踊り大会、竹枝夏祭り
- 8.18 加茂川ホリデイフォレスター、全国中学校体育大会陸上開会式



- 8.19 さくらんぼ会@しらゆり保育園、人形峠の講演会@鏡野町
- 8.20 中央児童相談所視察
- 8.21 ひだまりカフェ訪問@吉備中央町豊野
- 8.22 全国中学校体育大会剣道開会式
- 8.23 「子どもの貧困の解決について考える」課題共有ワークショップ
- 8.24 常任委員会(総務)、代表質問会派読み合わせ
- 8.26 小学校奉仕作業、「原発ゼロへの3つの道」シンポジウム
- 8.27 あるもんで食事会ふりかえり会
- 8.28 県政・市政おはなし会@高松公民館
- 8.30 常任委員会(総務)
- 8.31 特別委員会(教育再生・子ども応援)、地域防災カフェ@くらしのたね

- 9.1 県政・市政おはなし会@足守公民館
- 9.7 解体ボランティア@真備町、災害支援の話し合い@ぐーん
- 9.8 建部中学校運動会、GOOD BUBBLE@蔭涼寺



- 9.9 防災講演会@ほっと岡山
- 9.10 9月議会開会、美男美女の会
- 9.12 代表質問
- 9.15 のびのび小学校・希望中学校運動会、加茂川ホリデイフォレスター
- 9.17 フルーツカーニバル@くぼ農園
- 9.18 国民体育大会社行式
- 9.19 一般質問(～27日)、安保法制違憲訴訟傍聴
- 9.21 秋の交通安全県民運動推進行事
- 9.22 お月見会@御津河原邸



- 9.23 若年女性支援シンポジウム@ペンギンプロジェクト
- 9.24 豪雨災害ふりかえり講座@足守公民館、建部マルシェ
- 9.25 居住支援協議会、
- 9.26 立憲自治の会世話人会
- 9.28 特別委員会(教育再生・子ども応援)
- 9.29 NPOセンター20周年記念式典
- 10.1 常任委員会、林ぶどう研究所視察
- 10.4 9月議会閉会
- 10.7 秋祭り@建部町吉田



- 10.8 岡山市の公民館を考える市民フォーラム
- 10.9 特別委員会県外調査
- ～11 @石川・富山



議会質問のために、事前の調査もがんばりました

これまでの2年間

これまでの2年間に県議会で
6回登壇し、下記のようなテーマを質問してきました。

子どもの生きる力が育つ環境を

ひとり親家庭の支援 2017年2月議会



ひとり親家庭に役立つ情報をまとめた冊子の作成を提案したところ、今年実現しました。

ひとり親家庭サポートブック(配布は9町対象)は県HPから見れます

発達障がいのある子どもへの支援や防災 2017年6月議会、9月議会

家族が相談しやすい環境の大切さや、市町村の避難所運営マニュアルのモデルに、発達障がいなどを
もつ災害時要配慮者への配慮事項を加えることを確認しました。



各機関が連携して相談対応にあたることが大切です

妊娠した高校生や若年女性の支援 2017年11月議会／2018年6月議会

居場所がない若年女性や10代の妊娠の支援を進めることで、次の世代の貧困や虐待を防いでいけるよう、医療機関と学校の連携や性教育の充実を提案しました。

支え合える地域づくり 災害につよい岡山を

原発災害を繰り返さないために 2016年11月議会

万が一福島と同様の原発事故が西日本で起きた時、岡山も甚大な被害が予想されます。原発災害から避難した者の一人として、想いをこめて質問しました。



福島県川内村に自分で建てた自宅は、今もそこに

防災の向上 2017年9月議会

南海トラフ地震に備えた岡山バージョンの津波対策が必要であることや、学校との連携やトイレ不足への対策など、岡山の防災力UPに向けた質問をしました。



自力で避難できない方を運ぶ「人力くん」@県の総合防災訓練

自然を守り、地域で循環できる経済を

地域経済の活性化に結び付けるエネルギー政策 2017年9月議会、11月議会

地産の再生可能エネルギーや省エネを促進させて、地域外に流出している輸入燃料費(年間約3500億円)を地域内に循環させることができるよう、様々な具体案を提案しました。

空き家対策・移住定住

2016年6月議会、11月議会／2017年6月議会
建部町で空き家や子育て世代の移住が増えた事例を紹介し、空き家活用が進むよう持ち主への情報提供やDIYリノベーションの活用などについて提案しました。

地域における多世代交流と繋がり創出 2018年6月議会

中学生と地域の大人が交流する「だっぴ」*の活動は、自己肯定感や地域への関心が高まることがわかっており、その仕組みを高校や教員養成においても活用していくことを提案しました。



多世代によるおしゃべりの場が、中学生の世界を広げます



9月議会をふりかえり

9月議会では7月の豪雨災害に関する質問が多く出されましたが、今回は私は登壇しなかったため、他の議員がされた質問をいくつか紹介します。

ダムの放流について

Q [福島議員] ダム放流のタイミングや放流量は適切であったか？

A [土木部長] 旭川ダムでは事前に1.7m水位を下げ、マニュアルに基づき雨量予測を踏まえながら適切に放流を行ったと考えているが、検証委員会でしっかり検証し、異常気象に対応したマニュアルも検討したい。



旭川ダム。湯原ダムと同じく昭和29年に完成しました。

Q [江本議員] 新成羽川ダムは中国電力が管理するダムだが、放流時の連絡体制について流域の関係機関で対応を考える必要があると思うが？

A [知事] 高梁川水系については、県と中国電力がそれぞれダム管理連絡会議をしているが、次回からは共同開催することにして、関係機関への連絡体制も協議していきたい。

要支援者が避難するための個別支援計画

Q [福島議員] 自力の避難が困難な要支援者の避難先や介助する人を事前に決めておく個別計画が重要だが、個別支援計画を作成しているのは浅口と久米南の2市町のみ(岡山市は未作成)。どのように働きかけるのか？

A [危機管理監] 今回の災害で要支援者などの方の命を救った地域の取り組みを広く紹介したり、市町村と連携を深め、自主防災組織に具体的な計画づくりなどを周知し、積極的に取り組んでいきたい。



要支援者の避難方法を決めておくことが重要です

メガソーラーの開発規制について

Q [市村議員] メガソーラーの設置について、適切な規制をかける必要があるのでは？

A [知事] ゴルフ場開発等を規制してきた県土保全条例は、ゲリラ豪雨やパネル等の工作物を想定していないので、防災上の技術基準の点検を進め、条例改正の必要性も検

討していきたい。

ブラックアウト

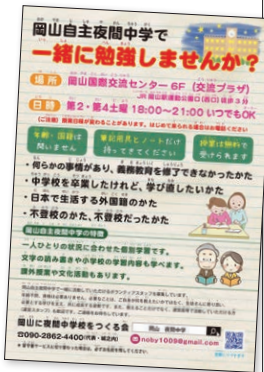
Q [上田議員] 大規模停電に対する取り組みは？

A [知事] 災害拠点の病院や県庁などの非常用電源整備を進めている。県庁舎の非常用電源は現在10時間分だが、72時間分の確保を目指している。北海道で明らかになった課題をしっかり受け止め、停電のリスクマネジメントに努めたい。また、家庭などでは手動発電のライトやラジオを準備していただきたい。

夜間中学校

Q [太田議員・山田議員] 夜間中学校のニーズや県有施設の活用についてどう考えるか？

A [教育長] 学び直しの場合は重要で、県有施設の使用は特に支障がないと考えるが、多様なニーズがあることがわかっていて、引き続き調査研究委員会で協議していきたい。



月2回開催される自主夜間中学には、様々な方が学びなおしにチャレンジされています

おもな「活動記録」から

岡山市の公民館を考える市民フォーラム

@県立図書館(10月8日)

岡山市の「公民館基本方針」づくりに市民の声を届けようと、フォーラムが

開催されました。活動団体からさまざまな実践紹介(高齢者の支えあいの仕組みづくりや、小中学生をまきこんだ世代間交流、障がいをもつ方達の発信、外国籍の方との多文化交流など)があり、改めて公民館が支えている地域活動の豊かさを再認識できました。ま

た、それらは意欲的な公民館職員さん達あってこそと実感していますが、地方公務員制度の改正により嘱託職員が安心して仕事を続けられなくなる懸念があり、今後職員の処遇維持を求める声も届けていく必要があります。

ひだまりカフェ訪問

@吉備中央町豊野(8月21日)

高齢者が笑顔になれる時間を、と週1回開催されているひだまりカフェにお邪魔しました。ここでは運転ができない方でも来られるように、通所付き添いサポート隊として地域の有志の方たちが2人

1組で送迎のお手伝いをされています。普段は家で一人過ごす方も、ここに来るのが楽しみと笑顔で話されます。高齢者が地域の方と関わりながら暮らしていけることはとても大事なことで、力をあわせて取り組まれている地域の方たちに頭が下がる思いです。このような集いの場所にあわせた移動支援のニーズはますます高くなっており、

今年は矢掛や奈義などにも取り組みが広がっています。



お昼を作って食べたり、健康体操をしたり、ほっこり笑顔になれるカフェです